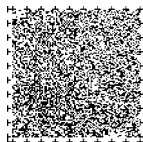


2020年の全国大会を目指す 知的障害者バスケットボールチーム

2020年（平成32年）に鹿児島県で開催される全国障害者スポーツ大会。開催はバスケットやサッカーなどすべての団体競技に出場することができ、現在活動している県内の主な団体競技は視覚障害者グラウンドソフトボール、知的障害者サッカー、精神障害者バレーボール、車椅子バスケットボールなど。今回新たに発足した知的障害者バスケットボールチームは、2014年の7月に結成。11月には「KAGOSHIMABALDERS（バルダース）」というチーム名が決定しました。北欧神話の光の神「バルドル」を由来とするチーム名は、監督を務める県国体準備課の山元晃一主査が考案。「選手たちがバルドルの光を浴びて、コート上で輝きを放つことを願って」との思いが込められています。チームには



知的障害者バスケットボールチーム 鹿児島バルダース



「バルダース」の由来は北欧神話の光の神「バルドル」

山元監督やコーチの指導の下、コートで汗を流すバルダースの選手たち

中学生から社会人まで17名の選手が参加。2015年3月末には合宿を行い、初めての対外試合も予定。チームの目標は「日本一になること」。東京オリンピック・パラリンピック、鹿児島県国体と同じ2020年に開催される全国障害者スポーツ大会での選手の活躍が期待されています。

鹿児島バルダースの 挑戦を支える人々

鹿児島県障害者自立交流センターの丸野奈央交流係長は、チームの創設にあたって他県のチームを視察し、県内の特別支援学校・関係施設をまわって選手を集めるなど尽力。「バスケットは瞬時の判断力や行動力が問われる競技。チームメイトや相手の動きを見てスピーディに状況判断することはとても難しい」と話す丸野さん。自らも選手として汗を流した経験があり、これまで車椅子バスケットボールのコーチや知的障害者バスケットボールの普及に取り組んできたからこそ分かる選手たちの努力と成長。「スポーツ活動を通して選手とのコミュニケーションを育て、社会参加を目指すきっかけになれば」。その思いを胸に、丸野さんは選手たちを全力でサポートし続けています。

知的障害者バスケットボールチーム
鹿児島バルダース
TEL099-218-4333
(ハートピアがこしま内)

